

教科目標

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

観察・調査や資料活用を通して必要な情報を入手し的確に記録する学習、それらを比較・関連付け・総合しながら再構成する学習、考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく学習など言語活動の充実を図る。

互いの考えを伝え合い、自らの考えを発展させる事例

1 学年 第3学年

2 小単元名 人々のくらしと工場の仕事 ～かまぼこ工場～

3 小単元の目標

地域の生産に関する仕事について関心を持ち、自分たちの生活との関わりや生産・販売に見られる仕事の特色、他地域との関わりについて調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考える。

4 言語活動の充実の視点

視点1： 調べたり、まとめたりしたことを生かしながら、かまぼこ工場で働く人たちの工夫を「川柳」で表現する。

視点2： 「川柳」をペアや全体の場で紹介し合ったり、活用した資料を発表し合ったりしながら、工夫について考えを深める。

5 主な学習活動（全11時間）

段階	学習活動
つかむ (3)	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県の名産品である「笹かまぼこ」について知り、製造工程を予想する。 学習問題を作り、調べる観点や調べ方について話し合う。
調べる (5)	<ul style="list-style-type: none"> 各自が疑問に思う観点（作り方、安全、おいしさ、働く人、歴史、販売等）について、パンフレットや副読本等を活用しながら調べる。 かまぼこ工場を見学し、疑問に思うことを観察したり取材したりする。
まとめる (3)	<ul style="list-style-type: none"> 分かったことをまとめ、グループごとに全体の場で発表する。働く人たちの工夫を「川柳」で表現する。 視点1 自分の川柳を紹介し、作成に当たって参考にした資料やまとめたことなどを自分の言葉で説明する。 視点2 かまぼこのおいしさを知ってもらおうパンフレットを作る。

育成する資質や能力

- 調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにしましょう。
 - ・相手にも分かるように表現できるようにしましょう。
 - ・根拠や解釈を示しながら説明できるようにしましょう。

言語活動の充実のポイント

- 問題解決的な学習過程を大切にしましょう。
 - ・考え表現する場面が設定しやすくなります。
- 学習問題や発問を大切にしましょう。
 - ・社会的事象の特色や意味について考えられるようにします。
- 表現のさせ方を工夫しましょう。
 - ・言葉や文章のみの表現だけでなく「地図やグラフを活用しての説明」や「イラストや関係図をかけた説明」なども考えられます。

評価の観点

- 社会的事象から学習問題を見いだして追究し、その事象について思考・判断したことを「話す」「書く」といった言語活動などを通して評価することが大切です。